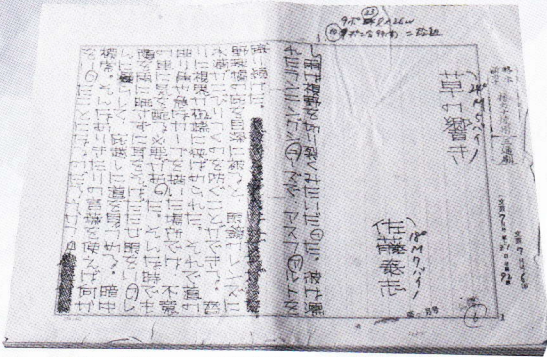
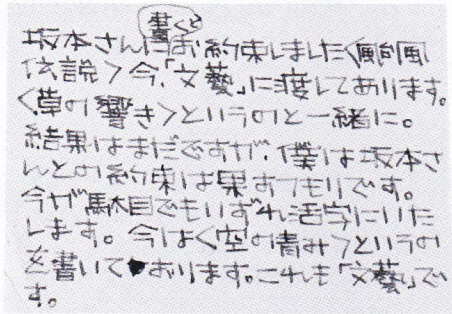




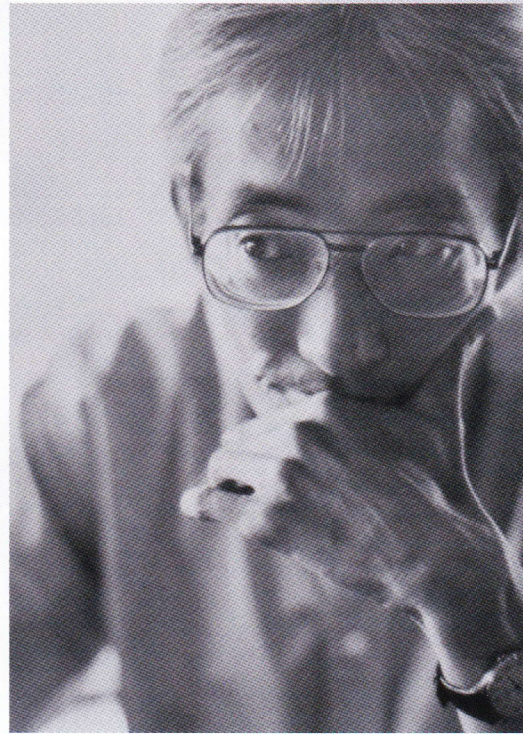
函館出身の佐藤泰志は、十代の頃から小説を書きはじめて、41才で自ら命を絶つ直前まで書き続けました。没後30年の昨年には、5作目となる映画も制作されました。文学館収蔵資料から、これまで映画化されてきた作品の原稿などを展示し、佐藤文学の魅力をご紹介します。



▲「草の響き」の自筆原稿（『文藝』1979年7月号掲載）



▲「草の響き」執筆等の報告
(坂本幸四郎宛葉書より 1979.2.28消印)



美容雑誌「しんびよう」より

収蔵資料展

令和3年度 函館市文学館企画コーナー

「映画になった
佐藤泰志の世界」

会期 令和3年

9月11日(土) ▶ 11月14日(日)

〈10月6日(水)～8日(金)は館内整理のため休館〉

問合せ 函館市文学館 TEL:0138-22-9014

主な展示資料

『海炭市叙景』

- 「海炭市叙景」自筆原稿 ●小説海炭市NOTE(自筆ノート)
- 映画『海炭市叙景』シナリオ 他

『そのみにて光輝く』

- 「そのみにて光輝く」自筆原稿と校正刷り ●『そのみにて光輝く』(河出文庫)
- 映画『そのみにて光輝く』シナリオ・パンフレット 他

『オーバー・フェンス』

- 「オーバー・フェンス」校正刷り ●『黄金の服』(小学館文庫・「オーバー・フェンス」所収)
- 映画『オーバー・フェンス』パンフレット・チラシ 他

『きみの鳥はうたえる』

- 「きみの鳥はうたえる」自筆原稿と校正刷り ●『きみの鳥はうたえる』(河出文庫)
- 映画『きみの鳥はうたえる』シナリオ・パンフレット 他

『草の響き』

- 「草の響き」自筆原稿 他

※このほかにも作品執筆当時、知人宛に書かれた葉書等を展示します。



函館市文学館

函館市末広町22-5
TEL (0138) 22-9014

入館料 一般：300円

学生(小学生～大学生)：150円

※20名様以上の団体は2割引



【主催】公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

佐藤泰志 年譜

- | | | | |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1949(昭和24)年 | 4月26日、函館市高砂町(現若松町)に生まれる。 | 1983(昭和58)年
34歳 | 小説「水晶の腕」(『新潮』同年6月号)第89回芥川賞候補。
小説「黄金の服」(『文學界』同年9月号)第90回芥川賞候補。 |
| 1956(昭和31)年
7歳 | 函館市立松風小学校に入学。 | 1984(昭和59)年
35歳 | 次女・佳乃子誕生。 |
| 1962(昭和37)年
13歳 | 函館市立旭中学校に入学。
『『赤蛙』を読んで』で、全道青少年読書感想文コンクール入選。 | 1985(昭和60)年
36歳 | 小説「オーバー・フェンス」(『文學界』同年5月号)第93回芥川賞候補。 |
| 1965(昭和40)年
16歳 | 北海道函館西高等学校に入学。
文芸部に入る。 | 1989(平成元年)年
40歳 | 3月、『そこのみにて光輝く』河出書房新社より刊行。第2回三島由紀夫賞候補。
9月、『黄金の服』河出書房新社より刊行。 |
| 1966(昭和41)年
17歳 | 小説「青春の記憶」で第4回有島青少年文芸賞優秀賞を受賞。 | 1990(平成2)年
41歳 | 10月10日、自裁。 |
| 1967(昭和42)年
18歳 | 小説「市街戦の中のジャズメン」で第5回有島青少年文芸賞優秀賞を受賞。 | 1991(平成3)年 | 2月、『移動動物園』新潮社より刊行。
3月、『大きなハードルと小さなハードル』河出書房新社より刊行。
12月、『海炭市叙景』集英社より刊行。 |
| 1970(昭和45)年
21歳 | 國学院大学文学部哲学科に入学。
同人誌『黙示』創刊に参加。 | 2007(平成19)年 | 『佐藤泰志作品集』クレインより刊行。 |
| 1971(昭和46)年
22歳 | 同人誌『立待』創刊に参加。
大学の同級生漆畑喜美子との生活を始める。 | 2010(平成22)年 | 映画『海炭市叙景』公開。 |
| 1974(昭和49)年
25歳 | 國学院大学を卒業。市役所を15カ所受けるも全て不採用となり、アルバイト生活を始める。9月結婚。
同人誌『贗エスキモー』創刊に参加。 | 2014(平成26)年 | 映画『そこのみにて光輝く』公開。 |
| 1976(昭和51)年
27歳 | 小説「深い夜から」(『北方文芸』第9巻8号)第1回北方文芸賞佳作に入選。 | 2016(平成28)年 | 映画『オーバー・フェンス』公開。 |
| 1977(昭和52)年
28歳 | 小説「移動動物園」(『新潮』同年6月号)第9回新潮新人賞候補。 | 2018(平成30)年 | 映画『君の鳥はうたえる』公開。 |
| 1978(昭和53)年
29歳 | 長女・朝海誕生。 | 2021(令和3)年 | 映画『草の響き』公開予定。 |
| 1979(昭和54)年
30歳 | 睡眠薬による自殺未遂。入院。 | | |
| 1980(昭和55)年
31歳 | 小説「もうひとつの朝」(『北方文芸』第12巻3号)第16回作家賞を受賞。
長男・綱男誕生。 | | |
| 1981(昭和56)年
32歳 | 函館市に転居。職業訓練校の建築科に入学。
「きみの鳥はうたえる」(『文藝』同年9月号)第86回芥川賞候補。 | | |
| 1982(昭和57)年
33歳 | 東京にもどる。3月、『きみの鳥はうたえる』河出書房新社より刊行。
小説「空の青み」(『新潮』同年10月号)第88回芥川賞候補。 | | |

